

ウチョウランの育て方

ウチョウランは、6～7月に赤紫色の花を咲かせる小型のラン科植物で、地下に長さ約1～2cmの長楕円形の球根をもっています。日本原産で低い山の湿った岩肌やイワヒバなどの生えている場所に自生しています。

植え方

鉢 2～3号の素焼鉢を用い、1～数球を浅く植えます。

用土 径3mm程度の日向土を単用するかあるいは、赤玉土か鹿沼土を1～2割混ぜます。

時期 3月～4月上旬ごろ

方法 鉢底に粗砂を少し敷き、用土を入れ球根の芽を上にし、芽がわずかにかくれる程度の浅植えとします。

置き場

年間通じて風通しよく、雨が当たらないところに置きます。日照は、30～50%程度遮光します。

水やり

生育期間中は、植え込み材料の表面が乾いたら水やりし、地上部が枯れてからは乾いてからさらに4、5日待って与えます。多湿にさせないことが大切です。

施肥

おすすめの液体肥料（2,000倍）を生育期間中、半月に1回与えます。

病害虫

ダイセン水和剤（800倍）やスミチオン乳剤（1,000倍）を半月に1回散布します。

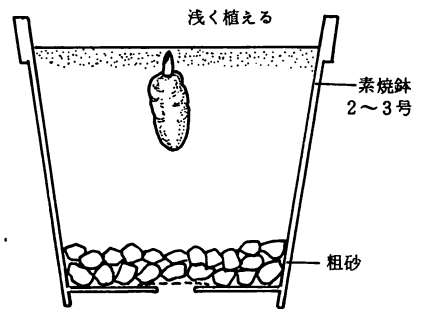
植え替え

2、3年に1回、春に行います。

繁殖

分球しにくいので、実生で殖やします。秋に種子を採り、親鉢やシュンランを植えた鉢にまきます。2、3年で開花します。

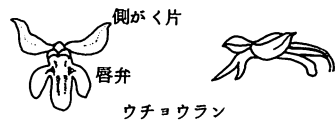
ウチョウランの仲間には、クロカミランやアワチドリ、ヒナチドリなどがありますが、栽培管理は、ウチョウランと同様に行います。



球根の植え方

正面

側面



ウチョウラン



アワチドリ



クロカミラン

ウチョウランとその仲間の咲き方